

JAが地域の農業振興や暮らしやすい地域づくりに貢献していくため、組合員の皆さまのご意見を聞かせてください。



JA福岡京築は 組合員の皆さまの声を もっと大切に していきます!!

ご協力の
お願い



私たちは、協同して自らの農業経営や地域の農業振興、暮らしやすい地域づくりを実現していくJAの目的に賛同する農家と地域住民の集まりである協同組合です。

協同組合であるJAで最も大切なことは、組合の運営や事業の内容など重要なことは、組合員自らが決めるということです。

JA福岡京築では、地域の農業振興や暮らしやすい地域づくりに向けて、組合員の皆さまの声をもっと大切にしていきます。

つきましては、個別訪問や各種会議などの機会を通じ、組合員の皆様のご意見をお伺いしたいと考えておりますので、ご多忙のことと存じますが、ご協力いただきたくお願い申し上げます。

平成30年5月

 **JA福岡京築**

1

JA福岡京築の総合事業 組合員の農業経営と 暮らしをサポートする JA福岡京築の事業のご紹介

JAは、協同組合として、組合員の皆さまの、農業とくらしのニーズに対応した様々なサービスを提供するため「総合事業」を展開しています。具体的には、次ページのような事業があります。

「総合事業」は組合員にとって、ワンストップで便利で多彩なサービスを受けられるメリットがあります。農家組合員の農業経営はもちろんのこと、組合員の暮らしをサポートすることもJAの大切な目的であり、その観点から「総合事業」に力を入れています。

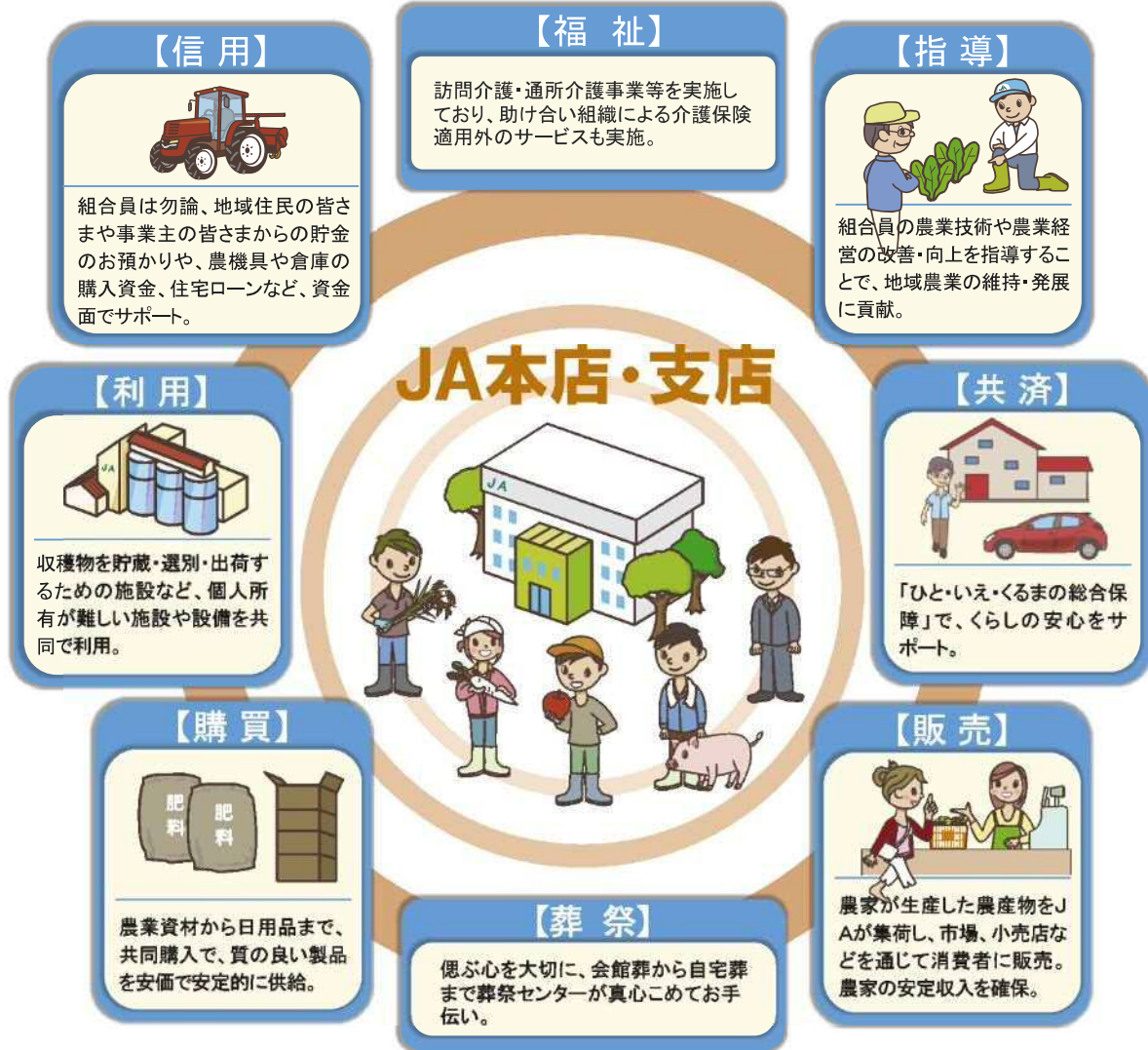
組合員の皆さまにとってより良いサービスを提供するため、皆さまが利用されているJAの事業について改善すべき点や、皆さまの事業上・生活上のお困りごとなどについて、率直なご意見をお聞かせください。

組合員の皆さまのご意見をお聞かせください

- 利用されているJAの事業について改善すべき点
- 事業上・生活上のお困りごと、など



JAの総合事業のご紹介



Column

信用事業等の譲渡について

政府の諮問会議において、JAが農業者のための農産物販売や生産資材購買に専念できるように、「JAバンク」として提供している金融サービス(信用事業)を農林中央金庫や信用農業協同組合連合会(県信連)へ譲渡し、「総合事業」を止めるべきだとの意見が出された経過があります。

協同組合であるJAの事業のあり方は、組合員の皆さまが民主的に決定すべきことです。法改正などによって事業分離を強制され、組合員の皆さまが意に反する不利益を被ることがないよう、「総合事業」を通じた取り組みを実践してまいります。

2

JA福岡京築の自己改革 地域の農業振興に向けた 農家組合員の皆さまへの 農業経営サポートの取り組み

JA福岡京築では、「耕そう、大地と地域の未来」をキャッチフレーズに、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を柱とする「自己改革」に取り組んでいます。

農業者の所得増大、農業生産の拡大について、具体的には、次ページにあるような、担い手経営体のニーズに応える個別対応や、マーケットインに基づく生産・販売事業方式への転換、生産資材価格の引き下げに取り組んでいます。

JA福岡京築は今後さらに、地域の農業振興に貢献できるよう、農家組合員の皆さまへの農業経営サポートに取り組んでまいります。

つきましては、JA福岡京築の地域の農業振興に向けた取り組みについて、組合員の皆さまから見て、頑張っていると感じていただいていることや、もっと力をいれてほしい取り組みなどについて、率直なご意見をお聞かせください。

組合員の皆さまのご意見をお聞かせください

- 地域の担い手育成・支援について
- 安全・安心な農産物づくりの取り組みについて
- 農産物直売所の取り組みについて、など



地域の農業振興に向けた取組事例

① 新規就農者支援

平成29年度の「第5回京築農業塾」にて13名の農業後継者の育成支援を行いました。

10回の講義を通じて知識や技術を身につけた京築農業の未来を担っていく卒業生に対し、今後とも安定した農業経営となるよう支援していきます。



② 担い手支援活動担当者による出向く営農指導体制の構築

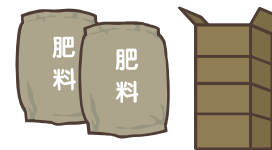
専任の担い手支援活動担当者(TAC)を配置し、担い手経営体に出向く専任体制の充実及び担当職員の育成に取り組むとともに、訪問活動による意見・要望を集約し、営農相談機能拡充に取り組んでおります。



③ 肥料の銘柄集約による価格の引き下げ、大型規格農薬等の取り扱いによる生産資材供給価格の引き下げ

肥料銘柄集約による価格低減に取り組み、「クミアイベスト444」を水稻・麦・野菜と幅広い元肥銘柄として導入し、平成30年産水稻資材の予約注文からは更に価格を引き下げました。

農薬については、除草剤のキャンペーン・予約注文等での大型規格農薬の普及拡大による生産コスト低減に取り組んでおります。



④ 今井直売所(仮称)新設による地産地消への取り組み

平成30年度中に、福岡京築ブランドを広く発信し、継承するため話題性に富み、リピーターの多い直売所を新設致します。消費者と生産者を結ぶ交流拠点として、更なる地産地消への取り組みを進め、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を目指します。



(画像は、新設イメージ)

3

JA福岡京築の自己改革 地域の活性化と 暮らしやすい地域づくりに 向けた取り組み

JA福岡京築では、京築地域（行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町の2市5町）の活性化と、皆さまが暮らしやすい地域づくりに向けた取り組みをすすめています。

具体的には、次ページにあるような、総合事業を通じた生活インフラ機能の発揮や、JAくらしの活動を通じた地域コミュニティの活性化、また、地方創生の取り組みなどを実施しています。

また、JA福岡京築は、農業者でなくても、地域に住み、JAの事業を利用することを望む場合、出資をすれば組合員になることができます。こうした地域の農業者以外の組合員の皆さまを、准組合員と呼びしています。

JA福岡京築は、准組合員の皆さまを含めた全ての組合員の皆さまにとって、なくてはならない生活インフラとして、今後とも役割を果たしてまいります。

つきましては、JA福岡京築の地域の活性化に向けた取り組みについて、組合員の皆さまから見て、頑張っていると感じていただいていることや、もっと力をいれてほしい取り組みなどについて、率直なご意見をお聞かせください。

皆さまのご意見をお待ちしております。



地域の活性化に向けた取組事例

① 食農教育の取組み

管内の小学生を対象に、田植えや稲刈りまでの米づくりや野菜づくり等、農業体験の実施による、食と農に対する理解促進に取り組んでおります。

また、他にも機会を通じ、未来を担う子供たちを対象に様々なイベントを展開しております。



② JAファンづくりに向けた地域コミュニティの取組み

平成29年度より、地域に密着した事業運営を展開するため、JAファンづくり運動の取組みを実施し、平成30年度は、更に、取組みのエリアを拡大することとしております。



③地域の金融機関としての支店機能の充実

他の金融機関と遜色のない高度でかつ専門的なサービス提供のため、支店の貯金・融資機能や総合相談機能等の更なる充実強化を目指し、地域に根ざした金融機関となるべく、平成31年度に20支店から14支店への「支店再編整備」を行います。



(画像は、築城・豊前中央支店新設イメージ)

④年金・相続相談会(移動ふれあい相談会)の開催

地域住民が集まる場所にLA(ライフアドバイザー)が出向き、将来の生活設計に関する悩み相談に対応し地域貢献に取り組んでいます。



Column

准組合員制度について

政府は、JAが農業者の協同組合に専念させようと、「准組合員の事業利用について、正組合員の事業利用等の関係で、そのあり方を検討する」としてあります。

現在、地域住民の皆さまにも准組合員になっていただき、JAの事業をご利用いただいております。事業の効率化やコスト低減につながるとともに、

JAの経営が安定し、農業関連事業の実施や地域に必要な生活サービスの維持が可能となるなど、**准組合員の皆さまのご利用は、農家組合員(正組合員)の皆さまにとってもメリットがあります。**

引き続き、正組合員と准組合員とで、JAの事業を通じて地域の農業とくらしを支えあうJAづくりに努めてまいります。

4

組合員アンケートのお願い 組合員の皆さまの ご意見をお伺いする 取り組み



JA福岡京築では、現在取り組んでいる自己改革に対する組合員の皆さまの評価をお伺いして、より一層、皆さまの期待に応え、魅力ある地域の農業振興や暮らしやすい地域づくりに取り組むJAとなれるよう、今後、組合員の皆さまを対象としたアンケート調査を実施することとしております。

なお、政府は、平成33年3月まで、自己改革の実施状況等を調査することとしており、改革の進展状況によっては、JA事業の分割や准組合員のJA事業利用の規制などが検討されることが想定されます。

組合員の皆さまからいただいた評価が、今後、政府が行う准組合員のJA事業利用規制のあり方などの検討に向けても重要となります。

つきましては、今回の説明をふまえ、今後、実施いたしますアンケート調査への、組合員の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

**ご理解とご協力を
お願い致します。**



JA福岡京築